

編集後記

スポーツをプレイする楽しみ、観る楽しみは人間がホモ・ルーデンス（遊戯人）としての性質を持っているからであろうか。スポーツを通して心身を鍛えたり、他人との交流を持つこともでき、スポーツは一種の文化とも言えるほど人間生活の中に入りこんでいる。しかし、激しい身体運動や高度な技術を要することが少なくないスポーツは外傷・障害の起因にもなる。よって、それらの予防やケアがおろそかになれば、スポーツへの復帰が困難になることさえある。元来、日本のスポーツ界は科学性に乏しく、練習法をはじめ、外傷・障害の予防やケアに対する認識が低かった。近年になりやっとその必要性が認められつつある。理学療法は、その特性からしてスポーツ医学の中でも重要な部分を占めることから、今後この方面にも大いに目を向けるべきであろう。

スポーツ医学の国際的動向（黒田氏）をみると、欧米での発展には目を見張るものがある。スポーツ外傷・障害の概要（中嶋

氏）は紙面の関係で概略的になったとおもうが、詳細については中嶋編著の「スポーツ外傷と障害」を参照されたい。米国におけるアスレチックトレーナーの教育（鹿倉氏）はすでにシステム化され、トレーナーの活動が定着してきていることがうかがえる。長年スポーツ医学に関与して来られた川野氏にはスポーツ外傷に対する理学療法について執筆していただいた。また、武富氏には昨年ユニバーシアードの経験をまとめていただき、大きな競技会における診療所の運営体制、活動内容などを知ることができ参考になった。

講座は「歩行」が最終回で「手指の障害学」は継続、「障害者の職業問題」が新しくスタートした（4回シリーズ）。

PT学会印象記のなかで宮本氏はPT協会の総会に対する会員の関心の低さに“めまい”を感じたとのことであったが、小生なぞいつも“眼振”を感じている。

（奈良 勲）

理学療法と作業療法

（第20巻 第9号）

1986年9月15日発行（毎月1回15日発行）

1部定価1,250円（配送料60円）

（年ぎめ予約購読料 15,350円）
（ただし、特別増大号を含む）
（送料弊社負担）

発行 株式会社 医学書院

代表者 椿 孝雄

〒113-91 東京都文京区本郷5-24-3

電話 受付台 (03) 817-5600

本誌編集室直通 (03) 817-5703

（担当：西塚・細田）

販売部直通 (03) 817-5659・5660

広告室直通 (03) 817-5696

ファクシミリ (03) 815-7802

振替口座 東京 7-96693番

印刷所 榎学術図書印刷 電話(03)814-4961

広告申込所 榎医薬広告 電話(03)814-1971

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 1986,

Printed in Japan

本誌の内容を無断で複写・複製・転載すると、著作権・出版権の侵害となることがありますので御注意下さい。

<編集顧問>

天 児 民 和
九州労災病院名誉院長

五 味 重 春
東京都立医療技術短大学長

砂 原 茂 一
国立療養所東京病院名誉院長

津 山 直 一
国立身体障害者リハビリセンター総長

（五十音順、以下同じ）

<編集委員>

上 田 敏
東大リハビリ部

萩 島 秀 男
ペインリハビリテーション
クリニック高島平
整形外科

大喜多 潤
兵庫県リハビリセンター

寺 山 久美子
東京都立医療技術短大

富 岡 詔 子
信州大学医療技術短大

奈 良 勲
金沢大学医療技術短大

福 屋 靖 子
筑波大学

松 村 秩
東京都立医療技術短大

<編集同人>

池 松 洋 子

伊 東 元

岩 崎 テル子

宇都宮 初 夫

金子 誠 喜

鎌 倉 矩 子

木 村 信 子

菊 地 延 子

小 嶋 裕

斎 藤 みち子

鈴 木 明 子

高 橋 正 明

田 口 順 子

橋 元 隆

古 川 宏

松 沢 博

宮 崎 和 子

宮 前 珠 雄

山 田 貞 雄

矢 谷 令 子